

水道施設の耐震化の状況

上下水道局では、安全・安心な水を安定的に供給できるよう、水道施設の更新及び耐震化を進めております。那覇市の水道管延長は、全体で約 775km となっており、主に口径 300mm 以上の主要な管（基幹管路）が約 119km、その他の配水支管が約 656km となっています。水道施設は、配水池が 7 か所、ポンプ場が 3 か所あります。

令和 6 年度末の基幹管路の耐震適合率^{※1}は 61.4%（全国平均 43.3%^{※2}）、配水池の耐震化率は 95.1%（全国平均 64.7%^{※2}）、ポンプ場の耐震化率は 100% となっており、今後も引き続き水道施設の耐震化を進めてまいります。

※1 耐震適合率とは、耐震適合性のある管の占める割合です。耐震適合性のある管とは、耐震管や耐震管以外の管路で良い地盤に布設されていて耐震性があると評価された管のことです。

※2 全国平均値は令和 5 年度末の値。

水道工事の流れと断水作業のご協力お願い

水道工事の流れ

	<p>①試掘</p> <p>地下に埋設されている占用物（下水道管、ガス管等）の正確な位置を確認し、水道管を布設する位置を決めます。計画的な工事の施工を行うために重要な工程です。</p>		<p>④新設管布設</p> <p>掘削・布設・土砂の埋め戻し、締固め・仮舗装を行い、前に進みながら管をつないでいきます。最後に、既設管と新設管の連結作業を行い、新設管に水を流します。</p>
	<p>②仮設管布設・給水切り替え</p> <p>長期的な断水を避けるため仮設管を布設します。既設管と仮設管の連結作業後に仮設管に水が流れ、古い水道管から仮設管へ各家庭の給水を切り替えていきます。</p>		<p>⑤給水切り替え</p> <p>各家庭への水の供給を仮設管から新設管へと切り替えていきます。</p>
	<p>③既設管撤去</p> <p>仮設管への給水切り替えが完了すると、古い水道管を撤去します。</p>		<p>⑥仮設管撤去</p> <p>全ての給水切り替えが完了すると、仮設管を撤去します。</p>
			<p>⑦舗装復旧</p> <p>仮舗装をきれいに舗装します。また、横断歩道や停止線などの道路上の記号や文字も元の状態に復旧します。</p>

既設の水道管とのつなぎ替え時に断水が生じます。断水時には事前に文書等にて通知します。工事の円滑な進行と安定的な水の供給の実現のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

